

# 結 果

## 医療費助成

### 22年度も継続の運び！！

陳情主旨

医療費助成は透析患者の命に係る問題として、22年度以降の継続を強く求めた。

回答

大幅な税収減、31億円の予算縮減見直し、生活保護費100億円の補正、肝臓疾患患者の障害者認による新規医療費助成費用の発生など、大変厳しい財政下ではあるが22年度も継続する。

## タクシーチケット

### 22年度に持ち越し

陳情主旨

今後、透析患者の高齢化と合併症などで介護を要する患者が増大する。当面、帰宅時に必要な枚数分156枚（年間）のうち、不足分の36枚の増発を要望した。

回答

透析患者の通院状況は理解した。タクシーチケットの増発については、昨今の経済情勢で、市の財政も削減を前提に見直しが行われている状況にあり、現在の発行枚数120枚（金額）は全国的に見て名古屋市が一番多い。17年に120枚としたが、今増発することは大変厳しいと言わざるをえない。従って、現在の制度を守りたい。

## ワクチン助成

### 22年度へ持ち越し

陳情主旨

高齢者（65歳以上、腎不全で免疫低下がある透析患者も同様と考えられる）の肺炎による死亡率は95パーセントとの調査結果が報告されている。肺炎球菌ワクチン予防接種の助成は、全国174市町村ですでに実施されている。愛知県でも長久手町、東海市、日進市、小牧市で実施済み、名古屋市は福祉先進都市とも言われており、ワクチン接種への公費助成を求めた。

（全国174市町村の公費助成額の平均は3,000円、実費では6,000～8,000円）

回答

肺炎球菌ワクチン予防接種助成については、安全性とリスクについて勉強をしており、大きな検討課題として取り組んでいるところである。

☆ 名古屋市はワクチン（ヒブ、水痘、おたふく、肺炎球菌、子宮頸がん）接種に半額（非課税世帯は全額）を助成する方針を決めた。実施は今秋からの見通し。（2010/01/03中日新聞（朝刊）から☆

署名へのご協力ありがとうございました。数は力！継続は力！今後も

会員の皆様の「命と生活を守る」<sup>くらし</sup>運動をがんばって参ります。